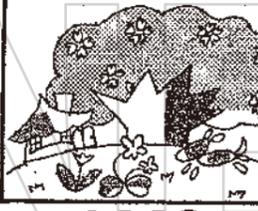


# 日進自歩

VOL.170

発行 日進塾

芽吹き春。君の未来は君が君の力  
可能性を信じるころから始まる。  
太くて丈夫な芽を春の大地に伸  
ばしていきこう!



情熱の夏。君の夢に対する熱い  
思いが君の日々を支えてくれる。  
太陽の下。君の生きる力をひたすら  
みなぎらせていきこう!



## 春夏

— 2022 —

## 四季の4ヶ条

4つの思いが君の2022年を  
最高の年にする!!

思考の秋。本を読み、  
音楽を聴き、君は君  
自身やこの世界に  
ついて深く感じ考える。君のより  
豊かな人生のために何を感じ、時  
には立ち止まり考えてみよう



## 秋冬

忍耐の冬。雪の下の  
草花は枯れてはい  
ない。耐えるべき時を  
黙って耐えているけれど、君の大きな  
飛躍のためにどんなに辛い状況の  
中でも歯をくいしばり耐え抜こう。



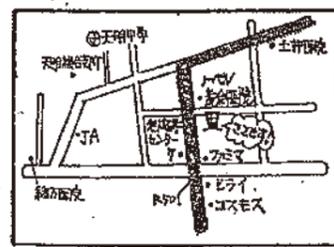
新しい年が始まりました。新たな思いで今年も当塾は君とともに前進します。

## 塾長からのメッセージ!

# その第一歩が君を変える!

今年こそ自分の殻を打ち破ろう!

「自分の殻」は誰かが君にかぶせたものではありません。知らず知らずのうちに自分で自分にかぶせていったものです。君が一人でさびしく生きることを望んでいる人などこの世界に一人もいません。本当は君自身が一番望んでいないはずで、君がこれまでに生きてきた日々の中で、君は戸惑い傷つき人を信じることで、怖くなってきたのかもしれない。しかし、それでも君が君の殻に閉じこもり、何も言わない何もしないことを望んでいる人間などこの世界には絶対にいないのです。●自分を変えたい! そう願っているのは君だけではありません。大人たちさえいつになっても毎日のようにそう思っています。自分を変えることができるのは、勇気をもって何かを始めると「小さなチャレンジ」だけです。●その第一歩が何より大切です。新しい年の始まりに「今年こそ良い年にしたい!」と誰かが願うことでしょう。その強い気持ちに「小さなチャレンジ」を加えてください。自分の殻は、必ずそこから破れ始めます。2022年が君にとって良い年でありますように……



熊本市南区銭塘町2136-8

# 日進塾

096(223)3151

HP <http://www.nisshinjuku.com/>

日進塾 熊本校

## 十二支(動物)は覚えるための工夫!

十二支は、中国の王充(Chang)という人が民衆に十二支を浸透させるために抽象的であらぬ教訓を覚えやすく、読みやすいように動物に替えて文献を書いたことが始まりだそうです。「子・丑・寅…」という漢字の方が先で、動物を後から便宜上当てはめたに過ぎないので、だから鼠を子・牛を丑・虎を寅、卯を兎と通常の表記とは違う字なんですね。

## 2022年は寅年



# 枝の物語

毎年、この時期になると十二支の話題を取にするようになりますが、そもそも十二支は、何の意味を持っているのでしょうか? 本来十二支は、十二年で天を一周する木星の軌道上の位置を示すためのつまり、年を数えるための教訓でした。後に「月」や「時」を数えるためにも使われるようになりました。時代劇などで「丑三つ時」なんて時を示すせりふもでてきたりしますよね。

## 十二支の縁起話

- 子** 可く子ねずみが増え成長することから子孫繁栄の意味を持ち行動力と財を持つと語れます。
- 丑** 肉は食料に力労働と社会と密接に関わる十二支で粘り強く、誠実であると語れます。
- 寅** 美しい毛皮の模様から前世は夜空の星と考えられています。果敢と未知があると語れます。
- 卯** 穏やかな様子から家内安全、はかばかから飛躍を表します。
- 辰** 伝説の生き物である竜は権力の象徴として扱われ、正義感と信用を持つと語れます。
- 巳** 執念深いと語れますが、鬼も高貴な地位を占めると語れます。また、探検心と情熱を持つと語れます。
- 午** 人との付き合いが長い動物で人の役に立つため、馬と大柄にしました。陽気な気風があると語れます。
- 未** 賢れと成ることから家内の安泰を示します。穏やかな人情に厚いと語れます。
- 申** 山神の使とされ信仰の対象としても非常に深い動物です。器用で理知的な変化と語れます。
- 酉** 時を知らせる動物。またとりこぶと語れる雉など縁起良いとされています。世話好きと語れます。
- 戌** 人との付き合い長く社会性が非常に親しみ深い動物です。勤勉で努力家と語れます。
- 亥** 猪の肉は万病を防ぐと語れる無病息災の象徴とされています。勇気と冒険心が語れます。

## 寅年(寅)の大将

寅年は、中国の王充(Chang)という人が民衆に十二支を浸透させるために抽象的であらぬ教訓を覚えやすく、読みやすいように動物に替えて文献を書いたことが始まりだそうです。「子・丑・寅…」という漢字の方が先で、動物を後から便宜上当てはめたに過ぎないので、だから鼠を子・牛を丑・虎を寅、卯を兎と通常の表記とは違う字なんですね。

Thank you!!

